

第294号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成26年度 定時総会開催 ..... 1~2
- “看護の日”に、当会が参画しました！ ..... 2
- 功労賞の受賞にあたって・学術奨励賞を受賞して・広報部だより ..... 3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 兵庫県健康財団 がん予防功労者表彰を受賞して・《賛助会員コラム》・《求人情報》 ..... 6~7

## 平成26年度 定時総会開催

ー平成25年度事業・決算、平成26・27年度新役員が承認されましたー



平成26年6月8日兵庫技研修センターに於いて定時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。

### <審議経過>

総会議長に松尾美也子会員（県立こども病院）、書記に佐藤裕貴会員（神戸中央病院）が選出され、総会の資格審査では、当日出席40名、委任状出席1,650名で会員の過半数の出席を得て総会が成立し、議案審議が開始された。

### <第1号議案：平成25年度事業報告>

当会は、平成24年4月1日に公益社団法人を取得し、2回目の事業報告及び決算報告を行う。事業は公益事業を中心とした活動を行い、より一層の飛躍を果たした年となった。更に、行政や各団体との友好な関係が構築され、多くの委員会や協議会にも参加して公共性の高い団体として確立された。

公益事業においては、県民の健康増進と疾病予防、公衆衛生の向上を目指した市民公開講座やがん検診を促進するPR活動等を展開し、各種の企画や行事に会員の派遣、協力を行った。

精度管理調査事業は、臨床検査の精度保証し、検査データを担保するために県下の施設を対象とした調査事業である。また、学術事業は臨床検査技師の資質の向上を目指したもので、各部局と協働して企画・実施する事業である。また、他職種を交えた研修会の開催を行うと共に、各協議会との連携研修会や訓練、県民参加型体験コーナー等を設けるなど幅広い活動を行った。

会員相互の共益事業においては、組織地区活動を通じ、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映され、組織の強化の推進に務めた。更に、会員の就労支援事業、待遇改善等の調査事業や職能・関係法規等の照会事業、会員が安心して業務を行うための「兵庫県会員のみの臨床検査技師賠償責任保険」の推進をした。

広報活動の取り組みとして、当会活動を会員および一般の皆様に関わりやすく伝達するため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発、取材活動を行った。

それぞれの部局が行った事業について報告した。

法人事務局：事務局および総務関係、関連団体への対応などを報告。

事業推進局：公益事業（公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業）、精度



管理調査事業(臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業)、学術事業(学術及び技術の振興を目的とする事業)を報告。

組織活動局：会員の資質向上事業(組織強化及び情報交換・共有化事業、新人研修会、渉外事業)、広報事業(各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発活動)など共益活動を中心とした事業を報告。

#### <第2号議案：平成25年度決算報告>

正味財産増減計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、財産目録、備品目録、収支計算書、収支予算事業別区分経理内訳表、収支計算書に対する注記について報告。

#### <第3号議案：平成25年度監査報告>

25年度事業活動および経理について問題がなかったとの監査結果を報告。

#### <第4号議案：平成26・27年度理事及び監事選任>

平成26・27年度新役員が承認され、監事は4年任期で残り1期(2年間)とし留任された。

定時総会に続いて表彰式典が行われ、功労賞に奥野万里子会員、学術奨励賞に福岡恵子会員が受賞され、同時に受賞記念講演が行われました。今後ますますご活躍されますことをご祈念いたします。



平成26・27年度新役員



福岡会員(学術奨励賞)

## “看護の日”に、当会が参画しました！

兵庫県看護協会に於いて、5月11日の“看護の日”に記念イベントが開催されました。当会は体験コーナーで、頸動脈超音波検査を行いました。今回で4回目となりますが、今までで一番多くの301名の方々に参加していただきました。中には繰り返し来られる方も多く、「前回悪い所を指摘されたので、経過観察のために来た」、「この体験コーナーで病変が見つかって医療機関を受診した」と様々な思いで検査を体験されていました。また、初めて体験される方の中には、症状はみられませんが、医療機関を受診の方がよいと思われる方も1割程おられ、担当の臨床検査技師がわかりやすく検査説明しました。体験コーナーを通じて臨床検査技師の仕事を知っていただくとともに、病気の早期発見、早期治療に繋がられるよい機会になったと思われました。





## 功労賞の受賞にあたって

奥野 万里子 (元神戸大学医学部附属病院)

この度は、栄誉な兵庫県臨床検査技師会功労賞を頂戴し、誠にありがとうございます。

この賞は私には過ぎた賞だと思い、躊躇しておりましたが、皆様方の温かいお気持ちに心から感謝させていただいて、謹んで受けさせていただくことに致しました。

研究班長、理事の期間、技師会の中心となってお活躍される会長、役員理事の方々のお働きには、多くのことを学ばせて頂きました。神戸で開催された近畿学会ではまとまりのよい連携で無事盛会のうちに終わり、打ち上げの時の充実感、安堵感などと共に楽しい記憶としてよみがえってきます。

私の兵臨技での役員期間は短いものでしたが、思い出の中にしっかり残っています。そして、この機会をお与えくださいました会長、役員理事の皆様、事務局の方々に感謝申し上げます。

今後も兵庫県臨床検査技師会が、ますます発展していけますことを心からお祈りいたします。ありがとうございました。



## 学術奨励賞を受賞して

福岡 恵子 (神戸大学医学部附属病院)

この度は、兵庫県臨床検査技師会学術奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。ご推薦していただいた技師会関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

実は私と技師会とのかかわりは、2期に分かれております。独身時代には微生物に携わり、新人研修会や、他府県との合同研修会実務委員として泊まりがけでの参加、夜中に熱く打ち合わせをした思い出があります。諸先輩技師会員の方の、臨床検査技師であることの仕事への愛着と誇りを強く感じました。結婚後は、平成14年より生理研究班班員、副班長、平成23年からは生理研究班班長を勤めさせていただきました。研修会の企画運営や講師、査読委員、司会等、様々な経験を積み重ねる機会を与えていただき、現在の自分につながることでなりました。この時代、生理分野の最先端で活躍される多くの医療人と出会えたこと、研究班の活動を通じて学術以外の仕事の面白さを学んだことは、臨床検査技師としての見識を深める上で貴重な経験であることはいまでもありません。

今後もこれらの経験を生かし、自分が授かった技術や知識を、より多くの会員にお伝えすることができればと考えております。本当にありがとうございました。

### 広報部だより

検体採取、技師の新たな価値に 「患者に説明できる検査技師」を全国で育成

日本臨床衛生検査技師会の宮島会長は、検体採取を盛り込んだ臨床検査技師法改正案が現在国会で審議されていることについて、実現によって検査前説明、採血・検体採取、検査の実施、報告書作成、検査結果説明の全ての過程で臨床検査技師が関わるようになると「検査相談技師、病棟等検査技師、訪問検査技師などの新たな価値の創出につながっていく」との認識と、多方面で活躍する素地が整うとの期待感を示した。その上で、検査結果の説明や相談に応じることのできる検査技師を育成するなどの取り組みを進める考えを示した。

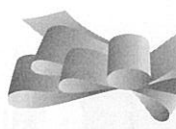
### 認定病理検査技師制度が開始へ

### 指定講習会を7月開催

日本臨床衛生検査技師会と日本病理学会が創設を検討していた「認定病理検査技師」制度がスタートする。11月にも第1回の認定試験が行われる見通しで、受験要件となる指定講習会の開催要領が日臨技認定センターホームページで公表された。第1回指定講習会は7月19～21日の3日間の日程で、制度創設の目的や方向性、病理検査の標準的な方法や精度管理に必要な知識、マネジメントなどについて講義が行われる。第2回目以降は、各地域で開催される研修会等を、認定センターが指定講習会として認可する。

(平成26年6月11日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)





## 兵庫県健康財団 がん予防功労者表彰を受賞して

山本 繁秀（姫路赤十字病院）



この度、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会（以下、兵臨技）のご推薦で、がん予防功労者として、平成26年度公益財団法人兵庫県健康財団会長表彰を賜りました。このような榮譽ある賞を拝受し大変光榮に存じます。今回の受賞にあたりご推薦いただきました富永会長をはじめ兵臨技の方々、諸先輩方ならびにご配慮とお力添え下さいました皆様方に心よりお礼申し上げます。

私は昭和56年に当院検査部に就職し病理検査室に配属となり、57年に細胞検査士、翌年には国際細胞検査士を取得し以降病理検査を歩んできました。

入職当時、検査部内に病理のベテラン技師が不在のため、若手技師の病理検査技術の習得と細胞検査士の取得が急務で、私への課題でもありました。とはいえ、知識と経験が特に重要な病理検査で、新米技師が研鑽を積むためには、職場の理解と支援に加え細胞診断研修会を主催された兵臨技や姫路医師会を中心とした地区の諸先輩方のご指導の賜物であったことを大変感謝しております。

病院病理検査・細胞検査士として特に信念を持って行ってきたことは、穿刺吸引や捺印細胞診を中心とした外来迅速細胞診を約30年来院内化してきたことです。臨床に出向いて検体処理を行い30分以内に報告することで、患者の結果報告までの心的負担の軽減と診療の早期計画、採取組織の評価の点で導入しましたが、何よりも組織診断と細胞診検査が対比し易く実践的でした。結果として臨床とのコミュニケーションが生まれ、臨床検査技師のチーム医療の参画に寄与していると思います。

現在は、検査管理が主な用務ですが、がん予防活動として病院内の禁煙教室活動や兵庫県臨床細胞学会・検査士会の一員として子宮頸がん啓発活動で子宮の日キャンペーン活動させていただいています。

今回の受賞を機に後半の技師人生を改めて、見つめ直す機会を与えていただき、技師として自己の研鑽と諸先輩から受け継いだ兵臨技の伝統を大切に、後進の育成にもお役に立ちたいと思います。

最後になりましたが、今日までご指導ご鞭撻していただいた諸先輩方や諸先生方、また勉強会の方々、職場の方々に深く感謝申し上げます。

賛助会員

ヨロム [28]



エーディア(株)

### 『創立60周年を迎えて、これまでの歩みと弊社のご紹介』

浅井 尚人（関西エリア）

エーディア株式会社は、今年5月26日で創立60周年を迎えました。1954年に創業したときの社名、三光純薬(株)から2011年にエーディア(株)と社名を変更して3年がたちました。弊社のこれまでの歩みと現況をご紹介します。

エーディア(株)の前身である三光純薬(株)は、1954年5月に資本金100万円で、ディフコ社のSS寒天培地や試薬類を輸入販売する商社として設立されました。1956年にオーソ社のRh式血液型判定用試薬、1958年にハイランド社の「RAーラテックス」試薬、シグマ社がキット化に成功していた生化学検査試薬のGOT、GPT等を輸入販売しておりました。このラ

テックス試薬やキット化試薬は、これまでの自ら試薬を作る材料や手間が省け、保存性に富み、また経済的に優れることから、研究者の方から歓迎され一世を風靡しました。1962年に(株)龍角散(後のヤトロン社)が、トランスアミナーゼ定量セットの開発製造を行い、弊社で販売を手がけることになり、生化学検査薬キット国産第一号として多大なる反響を呼びました。しかし、輸入していたメーカーが、海外での買収や国内における日本法人化などで、1970年代後半から80年代にかけて、各社との業務提携解消が続き、商社からメーカーへの変貌を試行錯誤していた時代でした。社の大きな転換期となったのは、1990年10月に、エーザイ(株)と資本提携を行い子会社となり、商社からメーカーへの脱却をこの契機に果たすべく決断を行い、エーザイの企業理念である『hhc(ヒューマンヘルスケア)』実現へ共に歩む決心をしたのであります。『患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を考え、そのベネフィット向上を第一義とし、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足する』この理念を共有し、診断から治療におけるアンメッドメディカルニーズの充足を果たすべく取り組みを進めています。現在弊社を支える屋台骨である、肝がんの腫瘍マーカー「PIVKA-Ⅱ」を1995年から当社工場での製造販売が開始され、1999年には、間質性肺炎の血清マーカーである「KL-6」も製造販売しています。もう1つの大きな転換は、2007年10月に株式交換によってエーザイ(株)の完全子会社となり、2011年4月にはPIVKA-Ⅱ、KL-6の海外導出を進めるために、新社名を親会社の社名の英文表記：Eisai Co. Ltd.と診断の英単語：diagnosisから命名し、エーディア(株)として新しく歩み始めました。今後も、企業理念である『hhc(ヒューマンヘルスケア)』実現へ向けて、全社員が一丸となり研鑽をして参ります。皆様からのご支援やご指導を賜れますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



めらんじゅーるな空間 [4] は紙面の都合上、次月号に掲載させていただきます。お楽しみに。

## 求人情報

\* 詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●神戸大学医学部附属病院

交 通：神戸市営地下鉄大倉山駅下車 徒歩5分  
採用条件：臨時職員  
業務内容：臨床検査補助業務  
連 絡 先：078-382-6314 (検査部 林)

### ●神戸市立医療センター中央市民病院・西市民病院

交 通：各病院のホームページ参照  
採用条件：正社員 (採用日 H27年4月1日)  
業務内容：臨床検査業務全般  
連 絡 先：078-940-0155 (法人本部 吉森)

### ●(医社)六心会 恒生病院

交 通：神戸電鉄道場南口駅下車 徒歩5分  
採用条件：正社員 (パートでも可)  
業務内容：超音波検査 (経験3年以上)  
連 絡 先：078-950-2622 内線211 (山崎)

### ●兵庫医科大学ささやま医療センター

交 通：JR福知山線篠山口駅下車  
バス15分  
採用条件：契約社員  
業務内容：臨床検査業務等  
連 絡 先：0798-45-6528 (人事企画課 森田)  
※試験会場は西宮キャンパス  
阪神電車武庫川駅下車 徒歩2分

### ●西宮市医師会診療所

交 通：JR西宮駅下車 徒歩10分  
採用条件：正社員  
業務内容：検体検査 (生化学・免疫・血液・一般)  
連 絡 先：0798-26-9498 (検査部 木村)